

★2019 CPILS Winter Camp を終えて、



・English Nick Name : *Chise*

私はこの留学で二つのことを学びました。1つ目は英語話すおもしろさです。日本にいるとき間違えるのが怖くて自分から英語を話すことができませんでした。でもここ CPILS で英語を学んでいくうちに間違えてもいいから自分の意見を言おうと思えることができました。初日の授業のとき周りについていけない先生が何を話しているのかまったく理解することができませんでした。すごく悔しかったしつらかったです。でも毎日英語を聞いているうちに少しずつ聞き取れるようになり先生が話していることを少し理解することができました。私のがリアンのリッセルや先生方が間違えても優しく教えてくれるので怖からず英語を話すことができました。本当にありがとうございました。2つ目は親への感謝の気持ちです。スワジランドの街並や物ごいをする人を見て私の暮らしはすごく贅沢で当り前のものではないと実感することができました。正直私の家はお金持ちではありません。でも親は私がしたいと言ったことは何でもやわしてくれます。このことは普通のことじゃないし私は恵まれてるのたゞ思いました。毎日家に帰るとおいしいご飯があって洗濯物が洗われていていてはる家庭を作ることがどれだけ大変が CPILS で生活して学びました。家に帰ったら「ありがとう」といいたいです。そして家の伝いをして一生懸命勉強して親孝行したいです。私は二つの経験から英語だけでなくその他の教科を自分から積極的に取りくみたいです。まずは受験を頑張りたいです。皆は優しくおもしろくて、友達がたくさんできて嬉しかったです。楽しかったこの11日間あったというまじでした。すべての人に感謝したいです。ありがとうございました。

★2019 CPILS Winter Camp を終えて、



・English Nick Name : Atsuya

僕は CPILS でいろいろな体験をしました。

僕が、まずセブ島に来て一番最初に思った事は、日本は冬で寒いのにスリピンはとても暑いという事です。

スリピンには、日本とは違って四季がなく、年中夏なのでとても暑いです。

CPILS に来て、一番最初にやった事は、リゾートです。

リゾートでは、韓国人の生徒達と一緒にご飯を食べて、その後プールで遊びました。プールには小さい滑り台と大きい滑り台があったり、ボートがあったり、テニスコートやアーチェリー、ロッククライミングなどがありとても楽しかったです。

その次の日から、授業が始まりました。授業でも、もちろん先生は英語しか話さないのに何を言っているかわからないと思った事は何度もありました。ですが先生達も優しく、わからないと言ったら例えを混ぜながら、英語で教えてくれたので授業もとても楽しくて、分かりやすく学びました。

クリスマスには、ショッピングに行ってお土産を買ってその夜にプレゼント交換をしたり韓国人の生徒達とゲームをしたりしました。

アイランドホッピングでは、ショールディングでいろいろな魚を見ました。しかし、クラゲがいてクラゲに刺される人が続出しました。

アイランドホッピングでの昼食は、海上レストランで食べました。先生達がおどったりしてとても楽しかったです。

29日に孤児院に行きました。孤児院では孤児達とゲームをしたり、プレゼントをあげたりしてとても楽しかったです。

★2019 CPILS Winter Camp を終えて、



•English Nick Name : Atsuyu

CPILS に来ていろいろな事を学びました。英語での会話が
多かったため、少し英語が分からなくても見振り手振りなどを使
えば伝わるという事が分かりました。CPILS での生活はとても
楽しい事だらけでした。

★2019 CPILS Winter Camp を終えて、



・English Nick Name : K

アメリカに留学に来たことは主に3つあった。1つ目はCPILSの先生と生徒の
関係がとても良いことだ。日本は生徒30人に対し1人の先生という「大人数の進歩に合わせた
授業だ」たので「ペースをつかむのが大変だった」がアメリカでは1対1で自分のペース
で授業が進むことができた。また先生と普通に会話をすることができた。2つ目は
自然の広さときれいさだ。アメリカではどこにでも木があり本当の南国のようだった。
3つ目は「ビーチ」が海がすぐそばにある。くら「魚」などの様々な魚を見ることが
できた。特に海と空がきれいで日本にも負けないと思った。3つ目はスラム街と裕
福層についてだ。アメリカでは道中で子供達が水を売っている、船を出しているり
している所と高層ビルやリゾートがあった場所との格差が多かった。日本では一定の
ラインを保っているということが本当に分かった。これらのことを言ってもまた他
の国に留学に行きたいかと思った。今回、アメリカの考えを矢張り他の国の考え、文化
くらしを見てみたいと思った。特に先生方と英語で話している時に自分の不足で上手に
伝えることができないことが悔しく、もっと英語を勉強しているような人とコミュニケーション
をとりたいと思った。アメリカはと「清潔」といって清潔でよかった。ゴミが毎日のお
うに3つかに分けてあり、水あがが「た」く「ん」あたりと少し嫌だと思ってしまう所も
あったら、日本の清潔を自分で片付けることの大切さを知れた。この留学に決
て自分の中で「将来留学して海外に住みたい」と日本にいる時よりも考えた。今まで
留学は夢のような存在だったが今回このように考えることができた。ここで友達も
できた。楽しい思い出を作れたから「他の国でも友達を作った楽しい思い出を作
りたい」と強く思った。それにはさらに自分の英語力、積極性を日本で伸ばしてい
きたい。(孤児の子の中にはとても積極的に話しかけてくれる子がおり、その子と話すこ
とは「中」で良かったし、もっと積極的に話しかけることの重要さを知った。) CPILS
に来た学んだことはとても楽しかったし、とても良かった。Shiori というおもしろいニ
イトで友達でできたので本当に楽しい1日間だった。

★2019 CPILS Winter Camp を終えて、



・English Nick Name : Chi

今日の10日間を通して色々な事が学べました。英語を話す楽しさや、住んでいる所や生まれた国が違っても友達になれるなど日本に住んでいる時に気づけなかったあたり前の事をSPILSに教えて頂きました。特に私が苦手だった発表も最初は初めての授業の時、自己紹介すらもはずかしくてうまく話せませんでした。それが先生方や生徒が大勢の人がいる前で自分の事や学んだ事などを自分なりにはずかしくがらずに話せました。自己主張も日本にいる時よりも出来るようになった。自分の中では今までで一番進歩出来た瞬間でした。フィリピンに来て一番感じた事は親のありがたみや日本がどれだけ恵まれているかなどです。私達生徒がバスに乗っている時、水をもらいに来たおばあさんがいたり、雨水で体を洗っている家族を見ました。私が普段飲んでいる水は本当に貴重でおなかがいっぱいと思える事がどれだけ幸せな事か、仕事などで忙しい中、おいしいご飯を作ってくれる親にすごくありがたみを感じました。お母さんいつもありがとう。最後に、教えてくれたり、お世話をしていた先生方ありがとうございました。フィリピンに来て、日本の事もフィリピンの事も英語の事も大好きになりました。私は、SPILSのキャンプに来て本当に楽しい思い出を作りました。この思い出は日本に帰っても忘れない出来事ですよ。読んでくださりありがとうございます。

★2019 CPILS Winter Camp を終えて、

(1)



・English Nick Name : Mona

入国当初「ハワイみたいなステキなリゾート地」だと思っていた。しかし、現実は正反対だった。「2019年の冬休みは、有名リゾート地で英語を学んだ！」と出国前に心をはずませていた私の目の前には、不便な生活、乱れた町、ものごいをする人々がラッリ、同時に私の心は沈みました。理想とはあまりにもかけ離れた状況に、動揺してはまたからず、そんな私に襲いかかるのは、強烈なホームシック。今後の生活不安、慣れない団体行動、そしてホームシックが重なり、2日目の夜に私は泣き、その後は体調をくずしてしまいました。しかし時は流れ、私も Winter Camp のメンバーや CPILS の環境に慣れ、体調も安定していきました。

CPILS が私が学んだことは、英語だけでなく、日本での生活、海外旅行は先進国にしか行かなかった私は、自分がいかに恵まれているのかを全く知らなかった。自分の置かれた「恵まれている」環境に満足できずにいました。自分がお金を稼いでいるわけではないのにもかかわらず。この文章を書いている12月30日から11日前の自分がいかにみじめで、無知な人間だったかを感じ、自分でもはかばかくなります。ただ11日間で、私の価値観は180°変わりました。来た当初、とても嫌だった CPILS が私に与えてくれた「モノ」は私の人生において、そして人間として最も大切なものです。

CPILS での生活は、英語がとにかく重要で楽しいものであるか私に教えてくれました。私は CPILS で韓国人の子達、病院の子供達と英語により、繋がりました。英語は、国境を越えて人々を紹介してくれるということを感じることができて、とても嬉しかったです。また、私と同じように英語への情熱がある人達と学習することにより、私のモチベーションも

★2019 CPILS Winter Camp を終えて、

②



・English Nick Name : *Mona*

上かりました。また、私の目標である「海外大学への進学」に向けて
自分か何をすれば良いのかか明確になりました。とても有難かったです。

最後に、11日間共に過ごした Winter Camp のメンターの皆さんと
先生方！そして私に貴重な体験をさせてくださったセブ島の方々、
私をこのキャンプに参加させてくれたお父さん、お母さんに深く感謝し
ます。思い出せば本当に短い期間で様々な経験を！私は
身心共に成長したと思います。このキャンプを今後の私の人生に
大いにいかそうと思います。本当にお世話になりました。

*I love Cipils ! I love Cebu !
Thank you so much !*

★2019 CPILS Winter Camp を終えて、



・English Nick Name : SAYAKA

私は、今回の CPILS Winter Camp を終えて学ん^たことがたくさんあります。1つ目は、コミュニケーションの大切さについて CPILS に来て一番最初の授業は私にとってとても難しくて質問しても自分の言いたい事が上手く言えず、正直早く帰りたいと思っていませんでした。しかし、笑顔でジェスチャーしながら話することでクラスメイトや先生は私の言いたい事を理解してくれ、英語での会話がだんだん楽しくなりました。CPILS の人達は皆フレンドリーで、クラスが1週間しかなかったのにもかかわらず、食堂や廊下等で会うと必ず「Hi, Sayaka!!」と声をかけてくれたのでとてもうれしかったです。台湾、中国、韓国を始めとするクラスメイトとは、CPILS に来なければ絶対に会うことの出来なかった人々だと思うので、CPILS を選んで本当に良かったです。

2つ目は孤児院についてです。私は孤児院に行くまで、孤児院とは薄暗くて、寂しいイメージでした。しかし、実際にしてみると、孤児院の人たちは、とても明るくて、孤児に対するイメージがとても変わりました。

セブ島リゾートのイメージが強かったのですが実際は貧富の差が激しかったり、水道水が飲めなかったり、トイレにトイレットペーパーがなく、またそのトイレットペーパーを流せなかったりと日本では当たり前だと思っていたことが、全く日本と異なっていて、日本のありがたさが身にしみました。始めは、英語が分からなくて、あと10間もある、と思っていたけれど、友達や先生と英語で話せることの楽しさを知り、帰りたくないという気持ちが強くなりました。私にとってこの11日間は毎日が刺激的でたくさん学ぶことができました。来年は高校3年生になり大学受験をするので、大学生になったら次はもっと長い期間、CPILS で学びたいです。